

4 家庭・地域との連携

学校で行う食に関する指導が、子どもたちの食習慣改善につながるためには、子どもが学校で学習したことを家庭で実践したり、身に付けた食に関する知識を家庭の食卓で家族に話をしたりするなどして、望ましい食生活の実践につなげることが重要です。

また、年間180日程度の学校給食を中心とした食に関する指導は、子どもたちの年間食事回数のわずか6分の1程度にすぎないことから、学校における食育を効果的に推進するためには、学校給食を活用した学校における取組のみならず、家庭の理解と協力や家庭における実践が不可欠です。

【連携のイメージ図】

